



自ら判断する力を養う 秋田県自主防災組織育成研修会

11月27日、美郷町公民館で秋田県自主防災組織育成研修会が開催され、町内自主防災組織員ら約80名が参加しました。研修会では秋田大学地域創生センターの水田敏彦教授が防災講話を披露。1896年陸羽地震や1914年秋田仙北地震の被害について説明し、「安全・安心な地域づくりには、過去の災害や教訓から学び、実践し、次の代に伝えることが大切」とし、防災への知識と行動力の大切さを伝えました。

続いて、与えられた事例の中で、災害対応の仕方を参加者同士で発表し合う「災害クロスロード」というゲームを実践。ゲームを通じて、参加者たちは自分とは異なる価値観や意見に耳を傾けるとともに、災害時に求められる「決断力」の重要性を体感していました。

安全な作業で事故をゼロに 雪下ろし安全講習会

11月28日、美郷町中央ふれあい館で雪下ろし安全講習会が開催され、町民など約30名が参加しました。初めに、大仙警察署の田中久好地域課長が雪下ろしの事故の事例を紹介し、「作業前にヘルメット、命綱、安全帯を装着してほしい」と事前準備の必要性を訴えました。続く実演では、大曲消防署南分署員が講師となり、はしごの固定方法やスコップにロープを巻く方法などを紹介。参加者もロープを手に持ち、「巻き結び」や「もやい結び」などの結び方を学びました。



健康長寿を目指して 健康づくり講演会

12月6日、美郷町公民館で健康づくり講演会が行われ、健康づくり推進員など約60名が参加しました。講演会では、町と連携を結ぶ株式会社龍角散の藤井隆太社長が「セルフケアの推進について」と題して講演。藤井社長は市町村の国保財政が厳しい状況に触れ、「『医者で薬をもらう』と簡単に話す、飲み残しの薬剤費は年間約600億円発生している。健康は自分で作るという意識を持ち、健康寿命を延ばしましょう」と訴えました。

講演の前には、秋田県立衛生看護学院の生徒たちが発表会を実施。美郷町は大人も子どももメタボリックシンドロームなどの肥満の割合が多いことを挙げ、日ごろの栄養管理や運動の大切さを呼び掛けました。



澄み切った音色を鑑賞 口笛と語りのコンサート

12月7日、名水市場湧太郎で町内の読み聞かせボランティアらが主催する口笛と語りのコンサートが開催されました。コンサートには、国際口笛コンクールの優勝経験がある口笛奏者の柴田晶子さん、五城目町出身のギタリストの本間貴士さんが出演。アニメソングや歌謡曲などを口笛とギターの音色で見事に表現しました。

また、町内の読み聞かせボランティア3団体が集まり披露した群読では、柴田さんと本間さんも参加。絵本のストーリーの展開に合わせて音楽を奏でるなど、多彩な演出に集まった約130名の観客は盛大な拍手で応えていました。



税の役割を学ぶ 千畑小学校で租税教室

12月11日、千畑小学校で6年生を対象に租税教室が開催されました。この取り組みは、次代を担う子どもたちに租税の役割や納税の権利義務を正しく理解してもらおうと、秋田県租税教育推進協議会等が主催しています。

租税教室では秋田南税務署職員が講師を務め、税金の役割をクイズ形式で出題。「小学校校舎の建設費用に約10億円が必要」と説明すると、児童たちからは驚きの声が上がっていました。また、1億円のレプリカが用意され、児童一人ひとりが一束約10kgの重さを体験しました。体育館内にある税金で賄われている物を探し出すゲームでは、児童たちはバスケットボールや跳び箱、カーテンなどを列挙し、自分たちの身の回りにある物と税との関わりについて学びを深めました。



美郷町の開票結果をお知らせします

第47回衆議院議員総選挙

第47回衆議院議員総選挙が12月2日に公示され、12月14日に投開票が行われました。

投票は町内21カ所の投票所で午前7時から午後7時まで行われ、午後8時から美郷町公民館で即日開票されました。

美郷町の開票結果は次のとおりです。

【小選挙区】

候補者氏名(届け出順、敬称略)	得票数
村岡 敏英	2,897
我妻 桂子	729
御法川信英	6,755

当日有権者数●17,679人(男8,204人、女9,475人)
 投票者数●10,569人(男5,127人、女5,442人)
 投票率●59.78%(男62.49%、女57.44%)
 有効投票数●10,381票
 無効投票数●188票
 不受理●0票
 持ち帰り●0票

【比例代表】

政党等の名称(届け出順)	得票数
維新の党	1,905
生活の党	205
公明党	1,223
日本共産党	738
民主党	1,653
幸福実現党	67
自由民主党	3,890
次世代の党	102
社会民主党	443

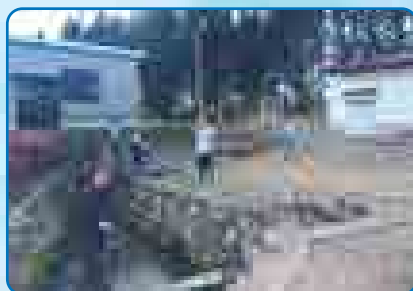
当日有権者数●17,679人(男8,204人、女9,475人)
 投票者数●10,568人(男5,127人、女5,441人)
 投票率●59.78%(男62.49%、女57.42%)
 有効投票数●10,226票
 無効投票数●342票
 不受理●0票
 持ち帰り●0票

美郷町の宝「清水」を保全するための住民活動が行われています

清水周辺環境保全活動モデル地区補助事業

美郷町では、かけがえのない財産である「清水」を次代に引き継いでいくため、平成25年度から地域の代表や有識者の方々と共に清水の課題について検討を重ね、「美郷町清水周辺環境整備・保全計画」を定めました。その中で、清掃等の保全活動は、地域住民が主体となって行うことが望ましい姿であり、それが永続的なものになるよう町が支援していくこととしています。

平成26年度から清水の清掃活動を行う住民団体を募集したところ、4団体から申請があり、清水の自主的な保全活動が始まっています。今後、このような活動が他の地域にも広がり、清水が町民共有の財産として親しまれ、地域のコミュニティの場として活用されていくことが期待されます。



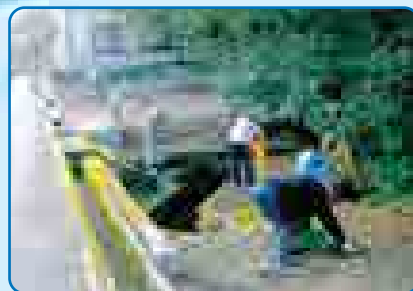
■古町町内会の皆さん(浄海清水にて)



■清水愛護会の皆さん(久米清水にて)



■大町清らか四水会の皆さん(ニテコ清水にて)



■宝門町内会の皆さん(岡田家清水にて)

問い合わせ●町商工観光交流課 観光班 ☎0187(84)4909